

## イノベーター育成塾 専門研究発表会

イノベーター塾を経て  
二年 普通科 男子

先日、山形大学工学部・城戸淳二先生主催のイノベーター育成塾の専門研究成果発表会がありました。私は横山道央准教授のもとで研究を行い、IoTを用いたデータ解析について発表しました。

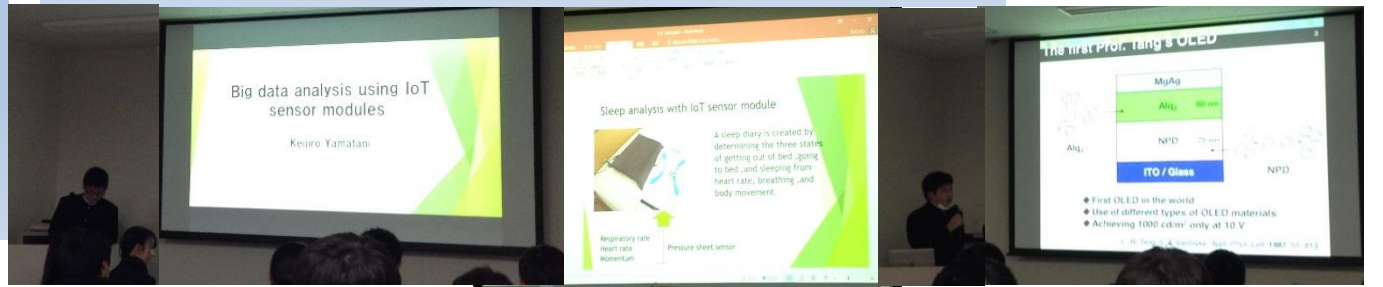
今回の研究では、睡眠者の体の動き、呼吸数、心拍数、周囲の温・湿度などを取得、データ解析を行い、質のよい睡眠について考察し、その結果を英語でまとめて発表しました。今までに触れたことのない分野で不安がありましたが、横山、原田両先生や研究室の学生の方々の協力もあり、円滑に研究を進めることができました。初めての英語発表ということもあり、練習に練習を重ねた結果、滞りなく発表をすることができました。しかし、その後の質疑応答では質問内容も高度かつ英語だったため、臨機応変な対応がうまくできませんでした。

研究の始めは不安もありましたが、自分の力を高められる良い活動になりました。来年の7月には、工学部において留学生を交えた発表もあるので英語力を高め、より良い発表ができるようにしていきたいです。

イノベーター育成塾成果発表会  
二年 理数探究科 男子

コア・スーパーサイエンス (CSS) 部では二学年部員13名が約半年間、山形大学工学部にお邪魔し、自分たちの研究を行わせていただきました。そしてついに12月13日、私たち一人ひとりの研究成果を配属研究室の教員、学生および院生の方々やCSS部員に向けて英語で口頭発表しました。自分のテーマは“A new hole transport material for organic light-emitting device”で7分間のスライドによる発表後、質問にも英語で答えました。英語による発表は想像以上に難しく、質問に答えることができないこともありました。しかし、研究を配属先のみなさんにも手伝っていただいたため、工学的でかつ濃密な内容となり、自信を持って発表することができました。今回の発表で私たちの研究は一区切りとなりましたが、様々な専門的知識や発表および実験の改善点など得るものは多かったと思います。これからも積極的に研究に取り組み、新発見に向けてイノベーター育成塾での経験を生かしていきたいです。

令和元年12月13日、山形大学工学部にて、本校の部活動コア・スーパーサイエンスクラブ (CSS) の二年生13名によるイノベーター育成塾の専門研究発表会が行われました。部員は自らの興味関心に近い研究室に配属され、およそ三か月半、大学生や大学院生とともに研究を行い、その成果を質疑応答も含め、英語で発表しました。



## サイエンスキャッスル2019 東北大会

口頭発表で得たもの  
一年 探究科 男子

私は12月14日に宮城県富谷市で開催された「サイエンスキャッスル2019東北大会」に参加し、口頭発表しました。

「アリのペンによる行動制限」という題目で発表しました。始めてから三か月ほどしか経っていない研究で、なおかつ初めての口頭発表でもあり、とても不安でした。しかし、審査員の方々の「発表を楽しもうぜ!」という言葉もあり、不安も吹っ飛んでしまい本当に楽しんで発表することができました。審査員の方々から出された質問は的確なものばかりで、もう一度自分の研究を考え直し、軌道修正することにつながると感じます。

初の口頭発表はいくつかの課題が残りましたが、素晴らしい経験となりました。今回の発表でご指導下さった顧問の先生方、株式会社リバネスの方々には感謝し、次の発表の機会や来年の研究活動に向けてこの経験を生かしていきたいです。そして、自分の研究をより良いものにしていきたいです。

多方面から見る力  
一年 探究科 男子

今回、宮城県富谷市成田公民館で行われたサイエンスキャッスル2019東北大会に参加してきました。サイエンスキャッスルとは、お互いの科学研究を発表・質問し合う「中高生のための学会」です。CSS (コア・スーパーサイエンス) 部員として「物理エンジンを用いたアニメの簡易再現」という題目でポスター発表を行いました。ポスター発表は初めてでしたが、落ち着いて発表・質疑応答をすることができました。審査員の方々にいろいろとご指摘いただいたことで、現実で生かせそうな方法を考えるいい機会となりました。また、他校のポスター発表から様々な角度から問題を解決していることを知り、大きなインスピレーションを受けました。分野が異なる研究にもとても興味をそそられるものが多く、多方面から研究を試みたいと思いました。

今回は様々な角度から研究に向かうことの重要性を理解する機会となり、今後の研究に生かしていきたいです。

令和元年12月14日、宮城県富谷市成田公民館を会場に、株式会社リバネス主催の「サイエンスキャッスル2019東北大会」が開催されました。本校からは、部活動コア・スーパーサイエンスクラブ (CSS) がポスター発表および口頭発表で参加しました。審査の結果、生物班による「アリのペンによる行動制限」が優秀賞を受賞しました。また、審査対象外で授業スーパーサイエンスリサーチ (SSR) より、3グループもポスター発表しました。

